

いう。

郑先生によると、「中国は広い。沖縄100号を今でも作っている所は、まだまだある」とのことだった。

それに味の方もいいらしい。前出の小野田正利先生も、「サツマイモの味は品種より土質だ。中国大陆の夏は日本より高温になる上、土が乾燥している。それで沖縄100号も、日本で作るより澱粉が多くなり、味もよくなる。中国では沖縄100号は、なによりもまず食用イモだった」と言われていた。

それにしても日本人が忘れかけていた沖縄100号が、冷凍焼芋となって日本へ里帰りし

ていたとは、思いもよらないことだった。

中国から帰って間もなくのこと、読売新聞論説委員、秋岡伸彦氏から、中国旅行についての電話取材があった。

そこで沖縄100号のを中心に話すと、さすがはベテラン記者だ。「まさに回り回ってですね」と表現された。そして平成2年10月2日号の同紙「編集手帳」欄で、わたしたちの訪中の成果を取り上げ、そう書いて下さった。

それにしても中国から日本へ、沖縄100号が入っているとすれば、その流通経路と評判が気になってくる。ぜひ調べてみたい。

#### ＜いも・つれづれ草＞

##### 田舎娘の香り？

ジャガイモの花は意外と美しい。その花じゅうたんを遠くから眺めても、農業試験場などに足を運んで、バライティに富む花一つひとつを見てもよい。そしてその鑑賞時間としては、花の中央の黄緑色の先端（柱頭）に宝石のような粘液があって、花卉がしばまぬ午前中をおすすめしたい。

白花では、畑を遠くからみると、ソバ畑に似ているが、近づいてみると違いがわかる。蜜腺が無いため、ソバ畑で見られるような脈やかに飛び回るアブや蜂の来訪がなく、とても静かで、女性的（いや男性的？）である。

芋の香りには、はっきりした個性があり、産地にもよるが、「男爵薯」、「蝦夷錦」、「銀山紫」などが良いほうとして知られている。また「メークイン」や「エニワ」のような芋臭さの強いものがある。しかし、花の香りとなるとどうであろう。

北方産花香気成分の研究をやっておられ、知床に近い根釧農試庁舎裏の実の結ばぬ栗の花の採取に見えたことのある北海道女子短大の若山誠治教授（当時）から、ジャガイモの花の香りについて、問い合わせをもらい、その答えに窮したこともあった。ジャガイモの花の満開時に

は、茎葉の香りと共に淡い香りの存在を認める者があっても、それが何の香りに近いかと問かけると、説明できる人は稀である。名古屋大の故長沢 徹教授の表現を借りると、

「花の色香を忘れたかのような」となり、十勝で、白花を好んで花瓶に飾っていた画家で農民の坂本直行さんによると、

「香りは上品とも言えないが、田舎娘の感じがある」となる。

##### 試してみませんか？

ジャガイモを使った占い、治療などを世界からひろってみました。貴方もやってみませんか！？

△ 来るべき年が幸福か否かを知るには、予言者の前にジャガイモの山を積んでおき、2個づつ対にして取っていき、端数が残らなければ良い年が来る（インカ時代）。

△ ポケットにジャガイモを入れて歩くとリュウマチにかからない（欧米）。

△ いぼやこぶを生ジャガイモでこするか、いもを土に埋めておくと治る（同）。

△ 新ジャガをポケットに入れておくと、お守りになる。黒ずみ、木片のように堅くなるまで入れておくと効果がある（英、米）。

— 浅間和夫 —